

専門医制度委員会

► 2017.5月

専門医制度委員会では、本年3月末日締切で受け付けました下記申請について、審議のうえ承認し、5月13日の理事会で承認されました。

- ・専門医の申請（新規：7名、更新：8名）
- ・専門医指導医の申請（新規：5名、更新：30名）
- ・特定指導医の申請（新規：6名）
- ・専門医研修施設の申請（新規：3施設、更新：10施設）
- ・特定研修施設の申請（新規：6施設）

第30回富山総会では、指導医講習会は総会翌日の日曜日（11/19午前中、富山国際会議場）に開催する（例年同様）。

東京女子医科大学 西村 勝治

► 2016.10月

1. 専門医・専門医指導医取得までの移行措置

理事会では9月の理事会で承認されたため、2016年11月24日の評議員総会に、上記移行措置を含む規則・細則改正案を提出します。評議員総会で承認された場合には、2017年度より向こう3年間の移行措置となるものです。具体的には、すでに特定指導医をお持ちの会員は2017年度、または2017年度に特定指導医になられる方は2018年度の11月の総会中に行われる専門医講習会を受講し、筆記試験の後にレポート提出・口頭試問などを経て、条件を満たした場合に「専門医」と「専門医指導医」を同時に付与されるものです。

これに伴い、資格を満たしている会員が、特定指導医になることを申請できるよう準備しています。

2. 研修施設・専門医・特定指導医の承認

本誌の別にあるとおり、委員会および理事会にて承認されました。

聖路加国際病院 保坂 隆

► 2016.7月

1、指導医などの認定

指導医は新規申請 4名、更新 6名、特定研修施設申請 8施設
専門医は新規申請 13名、更新 6名、新規特定指導医申請 9名を認定し、その後の理事会でも承認された。

2、専門医機構によるヒヤリング

6月24日、本委員会委員の西村・清水・保坂の3名で専門医機構によるヒヤリングを受けた。その際に、名称は「リエゾン精神科専門医」で臨みたい旨を伝えたところ、医療の中ではリエゾンは知られるようになったが、国民的にはまだ知られていない、との指摘を受けた。今後は、学会員に呼びかけ、国民に周知していただけるようにしたいと思う。

3、新委員の就任

今後、特定指導医を受講・試験・レポート提出などを経て、早めに専門医・専門医指導医になっていただく移行措置には規則改正が必要になるので、本学会則委員会委員長の古塚先生に新委員に就任していただいた。9月の理事会を経て、11月の評議員総会に提案させていただく予定。

日本総合病院精神医学会会員へのお知らせとお願い

●6月末に日本専門医機構の理事選挙が行われました。これによって、来年度から始まると言われていた新専門医制度の開始が遅れる可能性も出てきました。

●本学会では、これまで基本領域である日本精神神経学会のサブスペシャルティを目指してきましたが、これは今後も変わることなく、目指していく所存であります。

●日本専門医機構のヒヤリングを受けた際に、本学会の専門医の名称を「リエゾン精神科専門医」と提案したところ、「リエゾン」という用語は医療者の間では定着したが、一般国民には広く知られているとは言えない、という指摘も受けました。

●今後、会員の先生方には、可能な限り、院内表示などに「リエゾン精神科」などの用語を併記したり、一般の方への講演などの際にも「リエゾン精神科」という名称ができる限り使っていただき、国民に知られるように目指したいと思います。学会としても、市民講座を開催するなどの方法で、「リエゾン精神科」が周知されるよう目指していく所存です。

皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

聖路加国際病院 保坂 隆

► 2016.4月

1. 平成27年度専門医試験の結果

今回の口頭試験では30名合格。関係書類を合わせて申請後に専門医として承認される。

2. 特定指導医としての推薦リスト

特定指導医講習会には過去5年間で363名受講したが、申請者が少ないので、早めに申請するようアナウンスが必要。

また約100名の特定指導医は特定研修施設に申請していない。特定指導医の申請時に必ず施設申請も行うことを周知させる。

3. 研修施設認定

今回、4施設が専門医研修施設、1施設が特定研修施設、19名が特定指導医に申請中。

4. 特定指導医から専門医への移行措置

現行では3年たたないと移行できないが、その移行を1年に早めたい。そのための規則改正を行う必要がある。

聖路加国際病院 保坂 隆